卓球部

【活動報告】

5月15日～17日にかけて、春季関東学生リーグ戦が行われました。今年の1年生は、男子が関根慧・大武篤史、女子が市川桜来・遠藤暖葉・中村泉月が起用され、気合十分で臨みました。

男子は第1試合で昨年春王者の埼玉工業大学と対戦。結果こそ1-4で敗れましたが、先鋒の関根が3-2で1点を取る大金星を挙げました。そして、第3試合の大正大学戦。池田幸将(3年)がフルセットの末、11-1で勝負を制し、2部で初めてチームの1勝を挙げられました。

結果的に下位3校の三つ巴の末、入替戦に回る事になってしまいましたが、今回のリーグ戦は前回までのそれとは違う、飛躍を感じさせるモノであったと強く思います。

一方の女子。上述の1年生3人が敢闘し、特に中村泉月が単複合わせての6勝の大金星。また、田中梨々花(4年)が2勝、千葉珠音(2年)が4勝1敗と無類の強さを発揮しました。

結果は4位となり、前回から１位落ちてしまいましたが、インカレ(7/3～7/6)の推薦を得られています。

男女、これを踏まえ更なる高みを目指して参りますので、引き続き応援よろしくお願いいたします。

奥、関根慧(経済・1年)。
今季2部1位の埼玉工業大学の主将に勝利し、電撃デビューを果たした。
長身から放たれるドライブは圧巻の一言。

手前、遠藤暖葉(経済・1年)。
今季リーグでは１勝を挙げた他、競り合いになったゲームもあり、２部で充分に活躍できる選手だと感じさせられる。

女子卓球部。
今季リーグでは４位に落ち着いたが、確実に地力は上がっているため、秋に期待だ。

奥、本山惺也(経済・2年)。
大正大学から１点を勝ち取り、チームの勝利に貢献した。